ポリシーマネージャ構築ガイド



エフセキュア株式会社

改版履歴

| 履歴 | リビジョン | リリース日 |
|-----------------------------------|-------|------------|
| 初版 | 1.0.0 | 2013/03/11 |
| バージョン表記の変更(ポリシーマネージャ Ver.10.20 へ) | 1.0.1 | 2013/06/05 |
| バージョン表記の変更(ポリシーマネージャ Ver.11.00 へ) | 1.0.2 | 2013/08/29 |
| バージョン表記の変更(ポリシーマネージャ Ver.11.10 へ) | 1.0.3 | 2014/01/10 |
| バージョン表記の変更(ポリシーマネージャ Ver.12.10 へ) | 1.1.0 | 2016/06/17 |
| バージョン表記の変更(ポリシーマネージャ Ver.12.21 へ) | 1.2.0 | 2016/11/15 |
| ポリシーマネージャ Ver13.xx への対応 | 1.3.0 | 2018/09/06 |
| ポリシーマネージャ Ver14.xx/15.xx への対応 | 1.4.0 | 2022/06/03 |
| ポリシーマネージャ Ver12.xx の削除 | 1.5.0 | 2022/10/18 |

●免責

本書に記載された内容は、情報の提供だけを目的としています。したがって本書を用 いた運用は必ずお客様自身の責任と判断により行ってください。これらの情報の運用の 結果についてはエフセキュア株式会社はいかなる責任も負いません。本書の作成にあた っては細心の注意を払っていますが、記述に誤りや欠落があってもエフセキュア株式会 社はいかなる責任も負わないものとします。

本書は 2021 年 6 月時点の情報を基に記述されており、ご利用時に変更されている場合 もあります。

また、ソフトウェアに関する記述は、特に断りのない限り 2021 年 06 月現在でのバージョンを元にしています。ソフトウェアはバージョンアップされる場合があり、本書での 説明と機能内容や画面図などが異なってしまうこともあり得ます。

以上の注意事項をご承諾頂いた上で、本書をご利用願います。

●商標

エフセキュア及び三角マークは、F-Secure Corporation の登録商標です。また、エフセ キュアの製品名、マーク、ロゴは同社の商標または登録商標です。その他、記載されてい る、製品名、社名は各社の商標または登録商標です。

| 改版履歴 | 2 |
|-------------------------------|----|
| 目次 | |
| ポリシーマネージャ インストール及びバージョンアップガイド | 4 |
| ポリシーマネージャー 顧客 ID 登録ガイド | 15 |
| JAR ファイルからの MSI パッケージ作成ガイド | 20 |
| JAR ファイルによるローカルインストールガイド | |

Windows 版ポリシーマネージャ インストール及びバージョンアップガイド

<インストール及びバージョンアップ時の注意点>

- ポリシーマネージャを継続的に使用するためには、弊社ライセンス認証用サーバ(<u>https://corp-reg.f-secure.com:443</u>) への接続と、エフセキュア製品の有効なライセンスをもっていることがが必要となります。 プロキシやファイアウォールによる制限等を実施頂いている場合には、あらかじめ、 <u>https://corp-reg.f-secure.com:443</u>への接続を許可頂きますようお願い致します。 運用上の理由等から、設定が不可の場合は、「ポリシーマネージャ 顧客 ID 登録ガイド」の 【クローズド環境でご利用頂く場合】をご参照ください。
- ② Windows 版ポリシーマネージャと弊社製品(クライアントセキュリティ/プレミアム・Windows サーバセキュリティ/プレミアム)の共存構成の場合の注意事項
- 2-1) インストール及びバージョンアップ時にはサーバの再起動が求められる場合があります。
- 2-2) ポリシーマネージャもしくは弊社製品のアップグレードを行う際、アップグレード前に fspms.proxy(Ver13.xx/Ver14.xx)設定ファイルに何らかの変更を行なっている場合は、設定ファ イルのバックアップ・リストアが必要です。例えば、ネットワーク接続におけるプロキシによる 制限を実施頂いている場合が該当します。バージョンアップ前に以下ファイルをバックアップ 頂き、バージョンアップ後に置き換えた上で、fsaua サービスを再起動してください。

Windows 版ポリシーマネージャサーバの場合:

<u>バックアップ/リストア対象ファイル</u>

fspms.proxy(Ver13.xx/14.xx)

[インストールディレクトリ]¥Management Server 5¥data¥fspms.proxy ※バックアップ時には、サービス「F-Secure Automatic Update Agent」の停止/再起動は 不要です。

リストア手順

- 1 サービス「F-Secure Automatic Update Agent」を停止してください。
- 以下ファイルを、バックアップしたファイルと置き換えください。 fsaua(Ver12.xx)
 [インストールディレクトリ]¥FSAUA¥program¥fsaua.cfg fspms.proxy(Ver13.xx/14.xx)

[インストールディレクトリ]¥Management Server 5¥data¥fspms.proxy

3 サービス「F-Secure Automatic Update Agent」を開始してください

<u><インストール及びバージョンアップ手順></u>

- お手元にサポート証書をご用意頂き、ポリシーマネージャの最新版を下記より入手してください。 「https://www.f-secure.com/ja_JP/web/business_jp/downloads」
- 2. バージョンアップの場合は、以下手順にて、ポリシーマネージャのバックアップを取得ください。

ポリシーマネージャサーバのバックアップ

- 1 サービス「F-Secure ポリシー マネージャ サーバ」を停止ください。
- 2 対象のポリシーマネージャサーバから以下のディレクトリのバックアップを取得してください。
 [インストールディレクトリ]¥Management Server 5¥data¥h2db
- 3 サービス「F-Secure ポリシー マネージャ サーバ」を起動ください。

ポリシーマネージャサーバの復元

- 1 サービス「F-Secure ポリシー マネージャ サーバ」を停止ください。
- バックアップを取得した h2db フォルダを元の場所にコピーください。
 [インストールディレクトリ]¥Management Server 5¥data¥h2db
- 3 サービス「F-Secure ポリシー マネージャ サーバ」を起動ください。

 ダウンロードしたファイルをクリックすると、セットアップウィザードが起動します。 インストール言語(L):」が「日本語」になっていることを確認し、「次へ(N)>」を押下します。
 (*ここでは例としてポリシーマネージャ バージョン 15.20 を使用しております。)

| ▼ F-Secure セットアップ | | × | | |
|---|------------|----------------|--|--|
| F-SECURE POLICY MANAGE | R | F-Secure. | | |
| F-Secure | ョ セットアップによ | うこそ | | |
| このウィザードに従って F-Secure Policy Manager 15.20 build 95099 64-bit のてインストールを進めます。 | | | | |
| インストールを続ける前に、開いている文書をすべて閉じることを強く推奨します。[キャンセル] ボタンを クリックすると、ウィザードをいつでも終了できます。 | | | | |
| [次へ]をクリックして)次に進みます。 | インストール言 | 語仏: 日本語 | | |
| | キャンセル | < 戻る(B) 次へ(N)> | | |

4. 使用許諾契約が表示されますので、内容を確認し、「同意する(A)」を選択し、「次へ(N)>」を押下します。

| 🔻 F-Secure セットアップ | | | | × |
|--|--|--|--|---|
| F-SECURE POLICY MANAGER | | | F-Secure. | ŀ |
| 次の使用許諾契約をお読みくださ | εu | | | |
| 使用許諾契約に同意した場合にのみ、インス | ヘトールを続行する | ことができます(止)。 | | |
| F-SECURE®ライセンス約款(201 本約款はお客様がライセンスを取得さ ツール、ウェブボータル、ファームウ を直接的にサポートするサービス、開 ドを含む、全てのF-Secureプログラム、 アプリケーション(総称し「ソフトウ 購入されたライセンスまたは関連契約 る。本約款が言及するフログラ人に達 (同意する仏) (同意しない(P) | 8年1月) れた、またはお ェア、ハードび、 連文書、および、 ソフトウェア ェア」とする) において、お客 田☆れます、 | 客様に提供された ェア、そしておき 上記の更新とア・ビス に適用されます。 ほが利用すること | とサポート 客様フラム クローン 、本でき こができ | ~ |
| レイパーをションクロンパに進めます。 | الرجار لاربوغ | (夏3(0) | 1 | |
| | キャンセル | < 戻る(B) | 次へ(N): | > |

5. インストールコンポーネントを選択する画面が表示されますので、「ポリシーマネージャコンソール 15.20」と「ポリシーマネージャサーバ 15.20」のチェックを確認し、「次へ(<u>N</u>) >」を押下します。

| ▼ F-Secure セットアップ | × |
|--|---|
| F-SECURE POLICY MANAGER | F-Secure. |
| インストールするコンポーネントを選択してく F-Secure Policy Manager 15:20 build 95099 64-bitのつ | く ださい ンボーネント(C): |
| コンポーネント 「 Policy Manager Console 15.20 「 Î Policy Manager Server 15.20 | インストール済… タスク 14.42 アップグレ… 14.42 アップグレ… 14.42 アップグレ… |
| , デフォルトの選択(D) [次へ]をクリックして)次に進みます。 | 必要な合計ディスク領域(T): 1147.2 MB |
| キャンセ | 2)ル 〈戻る(B) 次へ(N)> |

6. (バージョンアップの場合)「既存の設定を確認する」画面が表示されます。 「既存の設定を保存する(<u>K</u>)」を選択し、「次へ(<u>N</u>) >」を押下します。

| ▼ 既存の設定を確認する | × |
|--|-------------|
| F-SECURE POLICY MANAGER | F-Secure. |
| 既存の F-Secure ポリシー マネージャ サーバがインストールされていることを検出 を変更するか、既存の設定を保存するかを選択してください。 | いました。サーバの設定 |
| ○ 設定を変更する(C) | |
| 既存の設定を保存する(K) | |
| | |
| | |
| キャンセル <戻るB |) 次へN)> |

7. (バージョンアップの場合)インストールを開始する画面が表示されます。 「開始(S)>」を押下します。

| ▼ F-Secure セットアップ | | × |
|-----------------------------------|-----------------------------|----------|
| F-SECURE POLICY MANAGER | F-Se | ecure. 🛜 |
| インストールを開始する準備が整し | ました (I) | |
| コンポーネント | ステータス | |
| Policy Manager Console 15.20 | | |
| Policy Manager Server 15.20 | | |
| 表示されているコンポーネントをインストールしま い。 | ま。選択内容を確認し、開始]をクリック **(ヽ | してくださ |
| | 2010 | |
| | キャンセル < 戻る(B) | 開始(S) |

8. (バージョンアップの場合)Database Maintenance 画面が表示されます。 「Start Maintencne」を押下します。

| Database mai | ntenance | | |
|--|--|--|---------------------------------------|
| This tool optimizes you also minimizes the size any changes. | r Policy Manager database. In additic of the database. The tool creates a b | on to checking the integrity o ackup of the current databas | f the database, it e before making |
| Depending on the size | of your database, the entire mainten | ance process may take quite | a long time. |
| Start maintenance | | | |
| Backing up datab | ise | | |
| Verifying databas | integrity | | |
| Upgrading databa | ise schema | | |
| Optimizing datab | ise | | |
| Reindexing | | | |
| Applying changes | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

9. (バージョンアップの場合)「Close」を押下します。

| 😴 Database maintenance 🛛 💶 🗙 |
|---|
| Database maintenance |
| This tool optimizes your Policy Manager database. In addition to checking the integrity of the database, it also minimizes the size of the database. The tool creates a backup of the current database before making any changes. |
| Depending on the size of your database, the entire maintenance process may take quite a long time. |
| |
| Backing up database 🛛 Show details |
| Verifying database integrity 🛛 🔍 |
| Upgrading database schema 🛛 🥑 |
| Optimizing database 🛛 🔍 |
| Reindexing 🛛 🔍 |
| Applying changes 🛛 |
| |
| |
| |
| |
| All maintenance steps completed successfully. You can now close this window and continue using Policy Manager. |
| Cancel |

10. (バージョンアップの場合)バージョンアップインストールの完了画面が表示されます。 「完了(F)」を押下します。バージョンアップインストールの場合はこれで作業完了です。



11. インストールフォルダを選択して、「次へ(<u>N</u>)>」を押下します。

| F-Secure セットアップ | | | × |
|---------------------------------|----------------|-----------|----------|
| F-SECURE POLICY MANAC | ER | | F-Secure |
| インストール先フォルダを選択 | Rしてください | | |
| ፈን ማስፈጣ ማስፈል የሰላ የሰላ የ | 1 7/#X(\(G) | | |
| C:¥Program Files (x86)¥F-Secure | 00002200(F)6 | | 参照(W) |
| | ディスクの空き領域(A): | 15.7 GB | |
| | 必要なディスク領域(R): | 1147.2 ME | |
| | | | |
| [次へ]をクリックして)次に進みます。 | | | |
| | キャンセル | < 戻る(B) | 次へ(N)> |

12. 管理者のパスワードを入力して、「次へ(<u>N</u>)>」を押下します。

| ♥ 管理者アカウントの作成 | × |
|--|-------------------------|
| F-SECURE POLICY MANAGER | F-Secure. |
| ポリシーマネージャの管理者アカウントを作成します。 ポリシーマネージャのコンソールからこのアカウントを利用してポリシーマ さい。 パスワードは6文字以上である必要がります。 パスワード(E): | ?ネージャ サーバにログインしてくだ - |
| パスワードの確認(C): | |
| キャンセル | < 戻る(B) 次へ(N) > |

13. 必要であれば各ポートを変更して、「次へ(<u>N</u>)>」を押下します。

| ▼ ポートを設定する | | | | | × |
|--|---|--|-----------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| F-SECUR POLICY | E MANA | GER | | F | -Secure 🛜 |
| ポリシー マネージャ サ | ーバの各モジュー | -ルのポートを設定し | てください。 | | |
| 各ホストは、ホストモジ | ジュールへアクセン | へできることが必要と | なります。 | | |
| ポリシー マネージャ コン 管理モジュールを同じ ーカル マシンに制限す Web レポート モジュー ます。 「ホスト モジュール ― | ハソールは管理日 マシンで実行す ることを推奨しま ルはオプションの | Eジュールへのアクセ る予定でしたら、ポル はす。 モジュールで、グラフ 「管理モジュールー | スが必要です。 シーマネージ 形式でレポー | 。ボリシーマネー ヤコンソールの7 トを表示できる | -ジャコンソールと Pクセス設定をロ 機能を備えてい |
| | | ж—r(0): | 8080 | ● アシビス シンのみ (S) | としていたく |
| HTTPS ボート(S): | 443 | | | (5) | |
| └ Web レポート モジュー | -ル | | | | |
| ▼ 有効(E) | ポート(0): | 8081 | | | |
| | | | | | |
| | | キャンセ | 216 | < 戻る(B) | 次へ[N] > |

14. インストールされる製品が表示されますので、コンポーネントを確認後、「開始(<u>S</u>)」を押下しま す。

| ▼ F-Secure セットアップ | × |
|--|------------------|
| F-SECURE POLICY MANAGER | F-Secure |
| インストールを閉始する準備が整いました(!) | |
| コンボーネント | ステータス |
| Policy Manager Console 15.20 | |
| Policy Manager Server 15.20 | |
| | |
| | |
| | |
| 表示されているコンポーネントをインストールします。 灌択内容を確認し い。 | ∽ [開始]をクリックしてくださ |
| [開始]をクリックして、インストールを開始してください。 | |
| キャンセル | < 戻る(B) 開始(S) |

15. インストールが開始されますので、完了までしばらく待ちます。

| F-Secure セットアップ | | | |
|----------------------------------|-------|---------|---------|
| F-SECURE POLICY MANAGER | 2 | F | -Secure |
| インストールを実行しています(!) | | | |
| コンポーネント | | ステータス | ξ |
| >>> Policy Manager Console 15.20 | | インストー | -ル中 |
| Policy Manager Server 15.20 | | インストー | -ル中 |
| | | | |
| 完了: 44% | | | |
| | | | |
| インストールの準備が完了するまでお待ちくが | ださい。 | | |
| | キャンカル | < 戻る(B) | 围达(S) |

16. インストール完了後、「次へ(<u>N</u>)>」を押下します。

| ♥ F-Secure セットアップ | | × |
|--------------------------------------|-------|------------------|
| F-SECURE POLICY MANAGEI | R | F-Secure. |
| インスト ールのステータス([) | | |
| コンポーネント | | ステータス |
| 🅑 Policy Manager Console 15.20 | | インストールされまし |
| V Policy Manager Server 15.20 | | インストールされまし |
| 「 完了: 100% [次へ]をクリックして)次に進みます。 | | |
| | キャンセル | < 戻る(B) (次へ(N)>) |

17. インストールが完了すると、完了画面が表示されます。「完了(F)」を押下します。

| ▼ F-Secure セットアップ | × |
|---|--------------|
| F-SECURE POLICY MANAGER | F-Secure |
| インストールが完了しました | |
| F-Secure Policy Manager 15.20 build 95099 64-bitをインストールしていただき | きありがとうございます。 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| < 戻る | B) 完了E) |

18. ポリシーマネージャコンソールを起動します。

インストールウィザード内で設定したパスワードを入力しログインを行ってください。

「User name」は"admin"が既定で設定されています。

| 😴 ポリシー 🎙 | マネージャ コンソールへのログイン | _ 🗆 X | < |
|----------|------------------------|---------|---|
| ポリシ | ー マネージャ コンソールへ | のログイン | |
| 接続: | https://localhost:8080 | オブション * | |
| ユーザ名: | admin | | |
| パスワード: | | | |
| | | キャンセル | |

19. 初回はサーバ証明書確認画面が表示されます。「Continue」を押下します。



20. 登録画面については後述の顧客 ID 登録ガイドをご参照ください。

| F-Secure ポリシー マネージャを登録する | _ □ |
|---|----------|
| F-Secure ポリシー マネージャを登録する | |
| F-Secure ポリシーマネージャ サーバの角級数を参用しています。評判類開始 30日後に置ます。本集品を引き成色変用する場合、その前に量級を行う必要 が約ります。 | |
| ● 職等 ID で登録する: ○ 製品を引き続き設備する | |
| | 次へ キャンセル |

ポリシーマネージャー 顧客 ID 登録ガイド

ポリシーマネージャーでは、ご利用にあたり顧客 ID の登録が必須となります。顧客 ID は、ご購入後 にメールにて送付されてくるライセンス証書に「顧客番号」として記載してあるものです。



F-SECURE®ライセンス証明書

本状は、お客様が、「エフセキュアライセンス約款」と本状に示される仕様に従い、本状で示されるソフトウ ェアをシステムにインストールし使用し、エフセキュアからサポートおよびメンテナンスサービスを受ける権 利があることを証明するものです。「エフセキュアライセンス約款」は、ソフトウェア内またはウェブサイト (http://www.f-secure.com/ja/web/home_jp/license-terms/)で参照することができます。

本状は、本状で示されるソフトウェアについて以前に発行された証明書に取って代わるものとなります。今後の 参照のため、本状を安全な場所に保管願います。

ライセンシー*:エフセキュア株式会社

担当者:江府 太郎 営業部 **電子メール:** taro.efu@f-secure.com

住所: 東京都港区赤坂2-11-7 ATT新館6F **ソフトウェア名:**エフセキュア Linuxセキュリティコマン ドラインエディション **ライセンス数:**1

ライセンスのシリアル番号:1-123456789

発行日: 2013-01-01
 ライセンスの有効期限 **: 2013-12-31
 サポートおよびメンテナンス サービス:
 Standard (スタンダードサポート契約)
 販売代理店: エフセキュアネット株式会社

顧客番号: 1-1ABC8D

ポリシーマネージャーコンソールへの初回ログイン時に、顧客 ID の登録が求められます。顧客 ID を 登録すると、ポリシーマネージャーはライセンス認証用サーバ(<u>https://corp-reg.f-secure.com:443</u>)と通 信を行い、お客様のライセンス情報の確認を行います。有効なライセンスが確認できない場合、ポリシー マネージャーコンソールへのログインができなくなります。

- 顧客 ID を登録しない場合は、30 日間の評価版として、ご利用頂く事となります。 評価版の動作については、正式版と相違はありません。
- ライセンスが更新されず有効期限が切れた場合、コンソールログイン時に、顧客 ID の入力が求められます。その後、さらに 30 日間は評価モードでのログインが可能ですが、30 日の評価モードが終了すると、ポリシーマネージャーコンソールへのログインができなくなります。
- ポリシーマネージャーコンソールへのログインができなくなった場合、弊社営業までご連絡頂き、 ライセンスを更新させて頂く事で、復旧致します。復旧には、24時間程度の時間が必要となる為、 あらかじめご留意頂きますようお願い致します。

<初回起動時の顧客 ID 登録方法>

- まず、お手元にライセンス証書をご用意ください。
 ライセンス証書を紛失された場合等については、お手数ながら、購入元(販売代理店/営業担当)に
 再発行をご依頼ください。
- 2. ポリシーマネージャーコンソールを立ち上げると製品のスプラッシュの表示後に、下記登録画面が 表示されます。顧客 ID を入力ください。(顧客 ID が不明な場合は後で登録することも可能です)

| 🤝 F-Secure ポリシー マネージャを登録する | _ □ × |
|---|----------|
| F-Secure ポリシー マネージャを登録する | |
| F-Secure ポリシー マネージャ サーバの体験版を使用しています。評価期間が 30日後に過ぎます。本製品を引き続き使用する場合、その前に登録を行う必要 があります。 詳細 | |
| ● 顧客 ID で登録する: ○ 製品を引き続き評価する | |
| | 実へ キャンセル |

3. 下記ログイン画面が表示されますので、インストール時に登録したパスワードを入力すると管理コンソールを操作することができます。User name」は"admin"が既定で設定されています。

| 🤤 ポリシー 🎙 | マネージャ コンソールへのログイン | _ 🗆 X |
|----------|------------------------|---------|
| ポリシ | ー マネージャ コンソールへの | Dログイン |
| 接続 | https://localhost:8080 | オプション 💙 |
| ユーザ名: | admin |] |
| パスワード: | | |
| | | キャンセル |

 手動で顧客 ID を登録する場合(1.で登録する前に「製品を評価する」を選択した場合等)は、管理 コンソールのメニュー>ヘルプ>登録を選択すると、登録画面が表示され、登録することが可能で す。



| 豪 登録 | × |
|------------------------------|--------------------------------|
| 登録 | |
| 顧客 ID: インストール ID: ea95696 | 6f-2145-42d3-84f5-a6909f49d732 |
| | OK キャンセル |

【クローズド環境でご利用頂く場合】

顧客 ID の登録には、弊社ライセンス認証用サーバ(<u>https://corp-reg.f-secure.com:443</u>) へのアクセス が必要となります、クローズド環境、もしくは、アクセス制限等の都合により、ライセンス認証用サーバ へアクセスできない環境にて、ポリシーマネージャーをご利用頂く際は、弊社にて別途、ライセンス情報 ファイル(トークン)をご提供させて頂きます。

ご希望の際は、ライセンス証書をお手元にご用意頂き、文末のテンプレートに必要事項を記載の上、弊 社サポート窓口までご依頼ください。なお、ライセンス証書の紛失等により、必要な情報が不明な場合 は、お手数ながら、ご購入元まで、ライセンス証書の再発行をご依頼頂きますようお願い致します。

ライセンス情報ファイル(トークン)を特定のフォルダに格納いただく事で、ポリシーマネージャーコ ンソールへ継続的にログインすることができるようになります。

ライセンス情報ファイル (トークン)格納先

Windows 版: <製品インストールディレクトリ>¥Management Server 5¥data Linux 版: /var/opt/f-secure/fspms/data

なお、同ライセンス情報ファイル(トークン)については、ライセンスの更新の際に、都度発行させて 頂く必要がありますので、あらかじめご留意頂きますようお願い申しあげます。 -----

<ポリシーマネージャー用ライセンス情報ファイル(トークン)取得申請>

- A. お客様情報
- a1) お名前 姓:
 - 名:
 - ローマ字姓:
 - ローマ字名:
- a2) 会社名:
- a3) 電話番号:
- a4) メールアドレス:

B.ライセンス証書情報(お手元のライセンス証書の情報となります)

- b1) 顧客番号:
- b2) ライセンスシリアル番号:
- b3) ライセンス有効期限

C.ポリシーマネージャのインストール ID

:

注意)

- 1. ライセンス証書の情報を正しく記載してください
- 2. インストール ID は以下の手順で確認できます。
 - ・ポリシーマネージャーのインストール ID
 ※評価モードにて、ポリシーマネージャーコンソールにログイン頂き、メニュー>ヘルプ>登録
 を参照頂くと、確認できます。

| 😴 登録 | × |
|----------------------|--------------------------------------|
| 登録 | |
| 顧客 ID: インストール ID: | ea95696f-2145-42d3-84f5-a6909f49d732 |
| | OK キャンセル |

以上

JAR ファイルからの MSI パッケージ作成ガイド

本章では、Windows 版ポリシーマネージャコンソールにて、MSI インストールパッケージを作成する手順を記載します。

※Linux 版のポリシーマネージャコンソールでは MSI パッケージは作成できません。次章を参照してください。

1. 弊社ホームページ (http://www2.f-secure.co.jp/download/) から、ダウンロードしたクライアント セキュリティの JAR ファイルを用意し、「インストール」タブを選択します。



2. インストールパッケージが表示されます。「インポート」押下します。

| パッケージの名前 ▲ | パッケージの詳細 | |
|------------|----------|--|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

3. インストールパッケージのインポート画面が表示されますので、1 で用意したクライアントセキュ リティの JAR ファイルを選択し、「インポート」ボタンを押下します。

| 🤤 インストールパッ | ケージのインポート 🗙 🗙 |
|-----------------------|---------------------------------------|
| ファイルの場所(!): |] #####F-secureInstallers###### |
| 🗋 fscs-14.23.127.jar | 🗋 fsss-15.10.2200.jar |
| 🗋 fscs-15.20.4335.ja | r 📑 fssspr-12.00.502.jar |
| 🗋 fscspr-13.11.110-\ | /2.jar 🗋 fssspr-12.12.104-v3.jar |
| 🗋 fsss-12.00.502.jar | |
| Ď fsss-12.12.104-∨3 | jar |
| 🗋 fsss-14.11.117.jar | |
| 🗋 fsss-15.01.871.jar | |
| | |
| ファイル名(N): | fscs-15.20.4335.jar |
| ファイルのタイプ(<u>I</u>): | F-Secure インストール パッケージ (*.jar、*.fsfix) |
| | インポート 取消 |

4. クライアントセキュリティ JAR ファイルが一覧に追加されたことを確認し、「エクスポート」ボタンを押します。

| マインストールパッケージ | > |
|--|---|
| איזיא איזער אי דאר איז איזער אי | <mark>パッケージの詳細</mark> F-Secure Client Security Premium 15.20 ID: ONECS 配布バッケージの最大サイズ: 85 MB バッケージは F-Secure により署名されています |
| | |
| | |
| インボート. エクスボート | |

5. 「Windows インストール パッケージ」を選択し、保存先、ファイル名を入力し、「エクスポート」を押します。

| 😴 インストール パッケージのエクスポート | × |
|--|------------|
| 保存: 😂 Windows (C:) | · A A - 85 |
| Packages | |
| PerfLogs | |
| Program Files | |
| Program Files (x86) | |
| ProgramData | |
| C Users | |
| C Windows | |
| WindowsAzure | |
| ファイル名(N): fscs-15.20.4335-exported | |
| ファイルのタイプ(<u>I</u>): Windows インストール パッケージ (*. | .msi) 🗸 🗸 |
| エ ク | スポート 取消 |

6. 「リモートインストールウィザード」が開始されますので、「次へ」を押押下します。



7. ライセンスキーコード入力が表示されます。ライセンスキーコードを入力し、「次へ」を押下しま す。



8. 「製品選択画面」が表示されます。インストール製品バージョンを選択し、「次へ」を押下します。



9. インストールする機能にチェックを入れ、「次へ」を押下します。



10. 言語を選択し、「次へ」を押下します。

1

| CLIENT SECURITY PREMIUM | | | F-Secure. | × |
|----------------------------|-------|------|-----------|---|
| 製品の言語 | | | | |
| 製品で使用する言語を選択してください。 | | | | |
| 日本語 | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | キャンセル | < 戻る | 次へ> 完了 | |

11. 初期ポリシー選択画面が表示されます。そのまま「次へ」を押下します。
 ※インストーラにカスタムしたポリシーをもたせたい場合、「ポリシーの対象」から、対象ポリシーを持ったドメインツリーを選択してください。

| CLIENT SECURITY | PREMIUM | | | F-Secu | ire. 두 | × |
|--|------------|----------|---------|---------|--------|---|
| 初期ポリシー ^{ホストがF-Secure} ポリシーマ | ネージャから独自のポ | リシーを受け取る | まで、使用する | 初期ポリシーを | 矍袂できます | a |
| ●デフォルトポリシー ○ ポリシーの対象: | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | キャンセル | < 戻る | 次へ > | 完了 | |

12. ポリシーマネージャサーバのアドレスを入力し、「次へ」を押下します。

| CLIENT SECURITY PREM | AIUM F-Secure. | × |
|---|--|---|
| ポリシーマネージャとく ポリシーマネージャサーバのアドレスを指定 ます。HTTPSまたはHTTP 確何のホスト ポ | の通信を設定する ミレてください・サーバのIPアドレス、WINSまたはDNS名を使用でき ートを指定して、環境に応じて接線先のホストの激別方法を解択できます | |
| ポリシー マネージャ サーバのアドレス <u>H</u> TTP ポート: HTTP <u>3</u> ポート: | : xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx | |
| ホストを認識する: | SMBIOS グローバルー意識別子 v | |
| | | |
| | キャンセル <戻る 次へ> 完了 |] |

13. 「ホストのカスタム プロパティ」は変更せず、「次へ」を押下します。

| CLIENT SECURITY PREMIUM | F-Secure. |
|--|---|
| ホストのカスタムプロパティを | を入力してください |
| 製品をホストにインストールし、F-Secure ポリシー マネ~ 定することでポリシー ドメイン ツリーを簡単にインボート きに使用するカスタム プロバティを人力してください・ | ージャに接続する場合、ホストにカスタムのブロバティを設 できます・コンソールで新しいホストをインボートすると |
| 不要な場合、[次へ]をクリックしてください。 | |
| プロパティ名 | プロパティ値 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | 追加 |

14. 競合合製品の処理画面が表示されます。処理を選択して「完了」を押下します。

| CLIENT SECURITY PREMIUM | | | F-Secu | re.😴 |
|--|-----------|------|--------|------|
| 競合ソフトウェア | | | | |
| インストール中に検出された競合ソフトウェアの処理 | 「方法を選択します | • • | | |
| M Uninstall conflicting software (recommende | d) | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | キャンセル | < 戻る | - 次へ > | |

15. 再起動オプション画面が表示されます。処理を選択し、「完了」を押下します。

| CLIENT SECURITY PREMIU | M | F-Secure. | × |
|--|-------------------------------|-------------------|---|
| 再起動オプション バージョン12xまたは13xからアップグレードし、 な場合があります・コンビュータを再起動するター | 競合するソフトウェアをアン イミングを指定できます。 | インストールする際には再起動が必要 | Ē |
| 再起動する前にユーザに確認する 次の時間が経過したら再起動する: | 5 分 | | |
| | | | |
| | | | |
| | キャンセル <房 | える 次へ> 完了 | |

16. エクスポート完了画面が表示されます。以上となります。

0

| 🤤 F-Secure ポリシー マネージャ コンソール | × |
|---|--------------|
| () <u>{ンストールパッケージを「C:\fscs-15-20.4335-exported msi、ビエクスポートしま</u> く OK | . [(C) > |

以上

JAR ファイルによるローカルインストールガイド

本章では、カスタマイズされた JAR ファイルを使用して、クライアントセキュリティをインストールする手順を記載します。

※Windows版のポリシーマネージャコンソールを利用する場合、前章を参照してください。

- 1. 前章を参照し、JAR ファイルをインポートします。
- 2. インストール対象のクライアントセキュリティを選択して、「エクスポート」ボタンを押します。

| 1935 jar | パッケージの詳細 |
|------------|--|
| in ood jur | F-Secure Client Security Premium 15.20 |
| | ID:ONECS 配布バッケージの最大サイズ:85 MB バッケージは F-Secure により署名されています |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

3. 「F-Secure インストール パッケージ」を選択し、保存先、ファイル名を入力し、「エクスポート」を押します。

| 🛜 インストール パッケージのエクスポート | //////× |
|--------------------------------------|-------------|
| 保存: Desktop | |
| FW j-safe | |
| PCView0841 | |
| PM_SS | |
| ファイル名 (N): fscspr-12.20-306-exported | |
| ファイルのタイプ(I): F-Secure インストール パッケージ | (*.jar) 🗸 🗸 |
| I | ロクスポート 取消 |

4. 以降、前章と同様にリモートインストールウィザードを実行しファイルのエクスポートをします。

引き続き、作成した JAR ファイルを使用したインストールに進みます。

JAR パッケージによる製品のインストールはクライアント側で操作を行います。通常はポリシーマネ ージャコンソールで作成した JAR パッケージとポリシーマネージャコンソール機のディレクトリにある Ilaunchr をインストールするマシンや同じ LAN 上にあるファイルサーバー、CD-R 等にコピーします。 (JAR パッケージは 40MB 以上のファイルサイズがありますのでネットワーク越しの作業はトラフィ ックを考慮する必要があります。)

Ilaunchr.exeはJARパッケージを展開するための実行ファイルです。 通常はPMCをインストールしたPCの以下のディレクトリに保存されています。 C:¥Program Files¥F-Secure¥Administrator¥bin

JARパッケージとIlaunchrを利用してクライアントセキュリティをインストールする場合、以下のよう な方法でインストールできます。

- ・「ファイル名を指定して実行」からインストールする
- ・BATファイルを作成しBATファイルを実行してインストールする

ファイル名を指定して実行からインストールする場合は以下の操作を行います。

(1) 「スタート」→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。

- ② 「名前」テキストボックスに Ilaunchr と JAR パッケージをフルパスで指定します。
- ③ 強制インストールのオプション「/F」を付けます。
- ④ 「OK」ボタンをクリックします。



エンドユーザー側で「ファイル名を指定して実行」のオペレーションをしてもらうのが難しい場合はBAT ファイルを作成しそのBATファイルを実行することで製品をインストールすることが可能です。 もっとも単純なBATファイルの作成例を以下に記述します。

(JARパッケージのファイル名はav4wks_7.10-150-signed.jarとしています。)

@echo off :start start ilaunchr.exe av4wks_7.10-150-signed.jar /F :end Exit

このコマンドをテキストなどにコピーし、install.batなどの名前で保存し、Ilaunchr、JARパッケージと 同じディレクトリにコピーしてください。

エンドユーザ側でバッチを実行するとインストールが開始されます。

※ Ilaunchrを実行した際のエラーコードをハンドリングする必要がある場合は 下記エラーコード一覧を参照してください。

・エラーコード一覧

- 0 インストールは正常に完了しました。
- 1 FSMA はすでにインストールされています。
- 2 ユーザーに管理者権限がありません。
- 3 JAR が見つかりません。
- 4 JAR が壊れています。
- 6 インストール パッケージの解凍中にエラーが発生しました。
- 7 インストール先ディスクに十分な空き容量がありません。
- 8 package.ini が JAR ファイルの中にありません。
- 9 ファイル package.ini に作業手順がありません。
- 10 コマンド ラインまたは ini ファイルに不正なパラメータがあります。
- 11 新しい作業プロセスの初期化中にエラーが発生しました。
- 12 セットアップ用インストール手順の作成中にエラーが発生しました。
- 13 一時ディレクトリを作成できませんでした。
- 14 未知のエラーです。
- 100 サイレント モードでインストールするのに必要なデータが不足しています。 無効な JAR ファイルです。
- 101 更新は無効になっています(セットアップはインストールを更新しようとしました)。
- 102 product.ini ファイルを読み取れませんでした。
- 103 prodsett.ini で無効なデータが検出されました。)
- 104 管理エージェントによりインストールがキャンセルされたか、

競合するソフトウェアが検出されました。インストールは中止されました。

105 入力した CD キーが間違っているか、CD キーが入力されていません。

インストールは中止されました。

- 110 ディスクの空き容量が不足しています。
- 111 インストール先ドライブはローカル ドライブではありません。
- 120 マシンに対する管理者権限を持っていません。
- 130 解凍したファイルをインストール先ディレクトリにコピーできませんでした。
- 131 アンインストール プラグインを製品のインストール先ディレクトリに

コピーできませんでした。

- 132 product.ini ファイルを一時ディレクトリにコピーできませんでした。
- 133 製品ファイルのインストール先ディレクトリへのコピー中にエラーが発生しました。
- 134 prodsett.ini をコピーできません。
- 140 新しいバージョンのスイートが検出されました。
- 150 製品のプラグイン dll をロードできませんでした。
- 151 インストール サポート dll をロードできませんでした。
- 152 ラッパー dll をロードできませんでした。
- 160 キャビネット ファイルを初期化できませんでした。
- 170 管理エージェントのセットアップ プラグインがエラーを返しました。
- 171 プラグインが予期しないコードを返しました。
- 172 プラグインがラッパー コードを返しました。
- 173 以前に開始したインストール/アンインストール操作が完了していません。 完了させるには、コンピュータを再起動する必要があります。
- 174 該当のマシンを再起動して、完了していなかったインストール/アンインストール 操作が完了しました。インストールを再実行してください。
- 200 一部失敗しました。一部の製品のインストールが失敗しました。

以上